

由利本荘市指定有形文化財「如意輪観音菩薩坐像」

●名 称	如意輪観音菩薩坐像
●指定年月日	平成11年6月29日指定
●寸 法	像高 21.5 cm 髪際高 16.4 cm
●構 造	寄木造、玉眼 推定ヒノキ材

○概 要

本文化財は、元禄2年（1689）と伝わる宝円寺の開創以前の16世紀の作と考えられています。宝円寺は曹洞宗寺院ですが、由利本荘市内における数少ない密教様式の観音像として貴重です。宝冠等は1782年の修理の時のものと推定されます。

この像は特徴的な姿をしており、片膝を立てて坐す六臂（6本の手）像で、右上手を頬にあて、左下手を地に付け、他手に宝珠、数珠、宝輪、つぼみの蓮華を持っています。現在は黒ずんだ古色になっていますが、元来は金泥（塗り）に衣が彩色されていました。

小像ながら、理知的で深く思惟する（考える）表情が魅力的な像です。

